

白球とともに夢を追いかける！ 杉並ライオンズ 45 周年 記念大会が開催されました

大会では、茨城県内の少年野球 32 チームとの記念交流試合が行われました。競技スポーツの多様化により、野球人口は減少傾向が見られますが「野球が盛んなまち・石岡」の復活を目指し、杉並ライオンズ 岡野 武士 総監督は「子どもたちの力を『信じ』『引き出し』『伸ばす』手助けがしたい。野球を通してできた人脈は生涯の財産となる。気軽に入団してもらえれば」とお話されました。興味のある方はぜひホームページをご覧ください▶



▲杉並ライオンズの皆さん。現在、32人で活動しています（令和7年3月現在）。



▲石岡市で最優秀賞に選ばれた園部中学校2年 金久保ゆきのさん（受賞当時）と上曽トンネルの銘板。

上曽トンネル銘板お披露目式 園部中学校・金久保ゆきのさんの 文字が刻まれました

石岡市と桜川市は、上曽トンネルの銘板製作にあたり、両市の中学生を対象に揮毫を実施。各市で最優秀賞に選ばれた1名の作品をもとに銘板を作成しました。

石岡市から選ばれた園部中学校2年 金久保ゆきのさん（受賞当時）は「恥ずかしい気持ちもあるが、色々な人に見てもらえるのは嬉しい」と話してくれました。

金久保さんは9年間、書道を続けており、現在も週1回教室に通い、練習に励んでいます。なお、上曽トンネルの開通は令和7年秋ごろを予定しています。

豊かな環境が育む石岡市の有機農業 「石岡市オーガニックビレッジ 宣言式」を行いました

石岡市は恵まれた自然環境を活かし、水稻をはじめ野菜や果樹など幅広い品目の生産が行われています。1970年代から始まった有機農業は、生産者の皆さまの努力によって規模を拡大し、現在では県内でも有数の有機農業産地に成長しました。

今後も有機農業の持つ魅力と効果を市内外に広く波及させながら、持続的な農業の振興と地産地消と食育のまちづくりへ積極的に取り組むため「オーガニックビレッジ」を宣言しました。



▲谷島市長（右から3番目）と新ひたち野農業協同組合およびやさと農業協同組合、県南農林事務所の皆さん。



外国人と石岡市の架け橋に

『INC サポーター』が石岡市長を表敬訪問

茨城県では、外国人の皆さんが安心して生活できるよう「IBARAKI ネイティブサポーター（INC サポーター）」を認定し、生活の困りごとの相談や情報提供を母語で行っています。イラン出身のタペシュターさんは「年金の手続きで悩んでいる方が多く、しっかりサポートしていきたい」と話してくれました。現在、県内で70名がサポーターとして認定されており、このうち石岡市在住のサポーターは9名です。

今後も地域と連携しながら、外国人の皆さんが安心して暮らせる環境づくりを進めていきます。



▲谷島市長（右から4番目）とINCサポーターの皆さん。



▲派遣活動の経験を共有し、今後の防災力向上の意見を交わす石岡市消防本部職員の皆さん。

大船渡市への消防支援を振り返る

石岡市消防本部が派遣活動報告会を実施

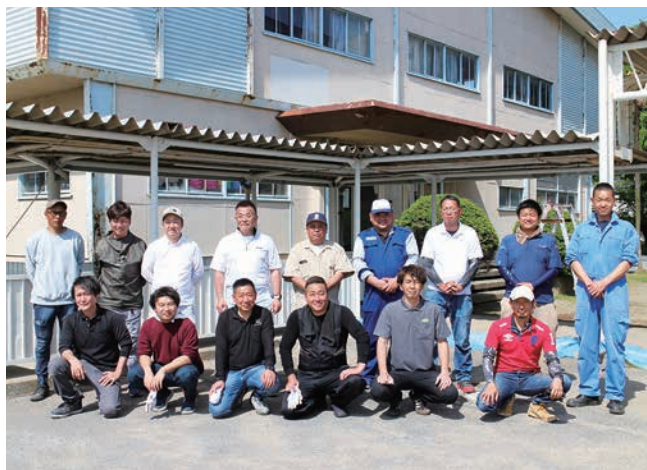
2月26日に岩手県大船渡市で発生した大規模林野火災に伴い、石岡市消防本部から職員計20名が派遣され、延焼防止などの支援活動を行いました。

5月1日と2日に行われた職員向け派遣活動報告会では、茨城県広域応援体制の取り組みや現地での活動報告に加え、課題の共有や応援体制強化に向けた意見交換などが行われました。

石岡市消防本部では、引き続き、市民の安全と広域災害への対応力向上に努めていきます。

ボランティアから広げる地域貢献の輪 一般社団法人 RENATUS が 府中小で塗装ボランティア

一般社団法人 RENATUS が地域貢献活動の一環として、府中小学校の西門、渡り廊下、車止めなどの塗装を行いました。使用したペンキや道具類は過去2回と同様に小野防水株式会社様からご提供いただいたものです。RENATUSの皆さんによる塗装ボランティアは今年で3回目。前沢理事長は「一昨年、府中小学校の塗装ボランティアを実施したことがきっかけで、今回はPTAの皆さんにもお手伝いいただいた。地域貢献の輪の広がりを感じています」とお話されました。



▲当日は一般社団法人 RENATUS の会員に加え、府中小学校 PTA の皆さんが活動に参加されました。